

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年10月16日
タイトル	じょうずに刈ったよ！初めての稲刈り！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月6日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組97名が、福山市東村町のほ場で稲刈りの農業体験をしました。

このほ場は、水土里ネット福山の組合員 かいはのあきのり 廻野明倫さんのほ場約17aで、農薬を極力使わない特別栽培農産物で「ひのひかり」を栽培しておられます。

6月に田植え体験をした子ども達は、それから4カ月間、稲の成長を見学を訪れたりして今日の稲刈りを心待ちにしていたそうです。

子ども達は6班に分かれ、1班ずつ鎌の使い方を教えてもらい、保護者と一緒に田んぼへ入ります。初めて鎌を使う子どもやお母さんたち、最初は恐る恐るだけど地域の方も加わって手を取って刈り方を教えてくださいとコツを掴みザクザクと音をたてて稲を刈り始め、すぐに上手に刈れるようになりました。

次の班へ交代する時は「もっと稲刈りしたいな！」とまだまだ稲刈りを続けたいようでした。みんなで約400㎡を刈りました。



お母さんと一緒に稲刈り！

じょうずに刈れてみんなでにっこり！

PTA会長の しらかたりお 白方里央さんは「年長になったら田植えや稲刈りがあるので楽しみにしていた。手で植えて手で刈ることができ、ここでできたお米を食べることもできるので、素晴らしい食育になると思った。田植えの後、幼稚園で稲の成長を見学に来ていて稲の成長を楽しみにしていたので、台風の時子どもが稲の事を心配していた。農業体験がきっかけで、食べ物や環境について家庭で話す事が多くなった。」と話してくださいました。



稲刈りが終わって待っている子ども達は、田んぼ周辺の自然に興味津々で用水路を覗いたり、草花を摘んだり、カエルや虫を捕まえたりと元気一杯でした。



カマキリを見つけました！



大きなミミズを捕まえて大喜び！でも素手は無理！

今回の稲刈りは、はざ掛けをしないでコンバインを使って一気に刈にします。そのため、子ども達が手で刈った稲を運んで脱穀しなければいけません。幼稚園の先生や保護者も協力して、刈った稲を全部脱穀しました。最後は落穂拾いをして、一粒のお米も無駄にしないようがんばりました。



なにが始まるの？大きなコンバインに子ども達は釘付けです！

子どもも保護者もみんな総出で刈った稲を運びました。最後は丁寧に落穂拾いをしました。

収穫したお米を使って後日、おにぎりパーティを開くそうで、とても楽しみにしています。



農業体験取材して、稲刈りをしている時の真剣な眼差しや、やり遂げたという自信に満ちた表情、虫やカエルを追いかけている時の笑顔を見て農業体験が子ども達にとっていい経験になっていると思いました。

今後も水土里ネット福山として、このような取り組みを支援していきたいと思います。